


市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

◎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

4月1日号への掲載の申込みは、2月27日(休)までに、広報広聴課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

※2019年8月から掲載要項・申込用紙が変更になっています。確認の上、申込みしてください。

子育て・教育

子どもプログラミング発表・体験会 (第32回沼津技術専門校テクノフェア)

📅3月1日(日)午前10時～午後2時 場沼津テクノカレッジ(沼津市大岡4044・24)
📍▶15歳の天才プログラマー三橋優希さんの講演▶CoderDojo参加者のプログラム発表▶プログラミング(Scratch、micro:bit、Viscuit)体験会🆓不要📍CoderDojo 三島/沼津・長屋 ☎090・7861・6663

文化

三島写真会「思い出の風景」展

📅2月12日(休)～16日(日)午前9時30分～午後5時(16日は午後4時まで) 場生涯学習センター市民ギャラリー📍会員たちの心に今も強く残っている思い出の風景写真の展示📍加藤 ☎972・0796

静岡県地域史研究会例会

📅2月15日(出)午後3時～5時 場郷土資料館1階多目的室📍永正13年からの今川氏の甲斐侵攻と城郭📍内藤和久さん(当会および武田氏研究会会員) 🆓無料(別途楽寿園入園料が必要) 📍不要📍土屋比都司 ☎971・3265

第25回フォトアート三島写真展

📅2月19日(休)～23日(日・祝)午前9時～午後6時(23日は午後4時まで) 場生涯学習センター3階市民ギャラリー📍フォトアート三島事務局・齋藤 ☎971・2791

伊豆史談会例会講座

📅2月23日(日・祝)午前10時～正午 場市民活動センター第1・第2会議室(本町タワー4階)📍伊豆の村あれこれ📍野中忠さん(当会常任理事) 🆓無料📍不要📍土屋比都司 ☎971・3265 ※会員募集中

スポーツ・健康

三島ジュニアバトミントンクラブ 会員募集

📅4月～令和3年3月毎週土曜日午前9時～正午 場東小学校体育館📍年會費12,000円、入会金1,000円、保険料800円📍令和2年度新小学3～5年生📍10人📍📍中野 ☎090・6075・8993

～ミニバスケットボール体験会～ WINDSミニバス

📅2月8日(出)午前9時～正午 場北小学校体育館🆓無料📍小学1～5年生🆓無料📍体育館シューズ、タオル、飲み物📍後藤 ☎986・3872 ※体験、見学随時募集中

エンジョイススポーツデー&教室体験

📅2月22日(出)午前9時～正午、受付午前8時30分 場市民体育館📍柔道、太極拳、ハイパーテニス、トランポリン、フットサル、ヨガなど🆓無料📍幼児～大人📍室内履き、タオル、飲み物📍NPO法人エンジョイススポーツ三島 ☎080・3603・4809

その他

鈴木学園三島校学園祭

📅2月16日(日)午前10時30分～午後3時30分 場鈴木学園三島校(一番町)📍▶調理師とパティシエを目指す学生の本格料理とスイーツの販売▶調理・製菓の学生作品展▶歯科衛生士の仕事体験、歯科に関連した子ども向けのミニゲーム🆓無料📍鈴木学園法人本部 ☎971・1833

整膚講演会と助健容体験会

📅2月18日(火)午後1時～2時30分(予備日:3月8日(日)午後1時～2時30分) 場県総合健康センター3階研修室📍100円📍先着30人📍当日までに、整膚の会・高野 ☎090・6330・4101 ※整膚とは自分の指で皮膚を引っばって健康になるという方法

家でできる味噌作り教室

📅2月21日(金)午前10時～正午 場錦田公民館📍大豆、米こうじ、塩の3つの材料で無添加味噌を作ります📍1,000円(材料・容器代) 📍未経験者📍先着5組(個人参加も可) 📍📍2月13日(休)までに三島市消費者連絡協議会事務局 ☎983・2621

第2回がん哲学外来 メディカルカフェ@三島

📅2月22日(出)午前10時～正午 場市民活動センター(本町タワー4階)📍がん治療中または経験された人や家族、友人がどんなことでもお話ができるサロン。がんの種類や性別年齢は問いません🆓無料📍不要📍一步一步の会・大橋 ☎992・0841、✉mishima_gantetsu@yahoo.co.jp

求職者職業訓練

「医療事務スタッフ養成科」受講生募集
📅3月30日(月)～6月29日(月)(内308時間) 午前9時10分～午後3時40分 場(株)ニチイ学科沼津校(沼津市大手町3・8・23) 📍医療事務、医師事務補助、調剤薬局の基本作業を学ぶ📍20,000円(テキスト代) 📍ハローワークで求職申し込みをしている失業者📍15人※選考あり📍2月28日(金)までに住所管轄のハローワーク📍ニチイ学館沼津校 ☎954・1501

振り付きで踊る楽しいポップスコーラスに参加しませんか

📅毎月第1・3土曜日午後2時～3時30分 場スペース麗(徳倉)📍実費負担あり📍成人女性で歌が好きなお人。経験不問📍📍スイングローズ事務局 ☎090・2557・8511

歴史の小箱

No.381

箱根石道の修繕 「石道金」
いしぢきん

郷土資料館 (楽寿園内) ☎ 971-8228

企画展「自然と生きる～水・竹・ワラ・石」を開催中
「むかしの道具」をたくさん展示しています。

昨年夏・秋の豪雨や台風では箱根八里の石畳にも被害がありました。現在でも通行止めになっている場所があり、修繕には多額の経費と時間がかかりそうです。今回は、江戸時代に石畳の修繕のために設けられた「石道金」とよばれる基金について紹介します。

江戸幕府は江戸時代前半の延宝八年（一六八〇）に箱根の坂道に石畳を整備しました。この経費は南伊豆の村々が幕府に上納しましたが、支払いが滞った後にお金が余りました。幕府はこれを基金として積み立てて、伊豆の村々に貸し付け、その利子をもって毎年の石畳の修繕料を賄うこととしました。この基金はその由来や目的から「石道金」と呼ばれました。（当時は「石畳」ではなく「石道」という言葉がよく使われていました。）元禄二年（一六八九）頃に二百

両で始まった石道金は年利一割から一割五分で運用され、元禄十五年には一三〇〇両以上にまで増えていました。このように石畳の修繕には潤沢な資金が用意できていたように見えます。

しかし、幕府代官の記録などを見ると、石畳の修繕に充てる予算が少なく、大雨が降るとすぐに大破してしまう、などといった記述が見られます。これはどうしたことでしょうか。その理由は主に二つあったようです。

一つはこの石道金の貸し付けが半ば強制的に行われたものであったため、借主がもとも困窮していることが多く、利子を付けて返済するどころか元金すらもとにも返せない場合が少なくなかったという点です。そのため、江戸時代後半の天明七年（一七七七）にはその時点の貸付金残高を無利子で三十九年年賦にして返済させることになったほどです。

もう一つは、石道金が本来の目的である石畳の修繕以外の用途に使用されてしまったことです。その用途とは宿場町の助成金です。江戸時代の宿場町は伝

馬役と呼ばれる公的な人・モノの運搬の義務を負わされており、そのために苦しい財政状況が続いていました。しかし、宿場町がひとつでも財政破綻してしまえば、東海道の公的な人・モノの輸送が機能不全に陥ってしまいます。そこで、幕府はさまざまな宿場町支援をするのですが、その財源として潤沢な資金をもつ石道金が狙われたのでした。

たとえば、江戸時代後半には九〇八両の石道金が年利八パーセントで貸し付けられており、毎年七十二両ほどの収入がありました。そのうち五十七両が三島宿の助成金に回され、石畳の修繕には十五両が使われただけだったといわれています。



▲石道金について記す
江川代官の御用留
(江川文庫蔵)

わたしのおばあちゃん

当番 ほんだ のあ さん

両親は共働きで帰りが遅いので、おばあちゃんがいつも私を見てくれます。そんな私のおばあちゃんのすごいところは二つあります。

一つ目は、料理がとてもおいしいことです。リクエストしたものを作ってくれます。二つ目は、本をよく読むため何でもよく知っています。特に歴史や漢字にくわしくて、私に分からない問題に答えてくれたり、TVのクイズ番組でよく正解したりするところです。前まで先生をしていたおばあちゃんのすごいところをこれからも見つけていきたいです。



本田則子 (66才)
本田乃愛 (沢地6年)